

静岡海区漁業調整委員会委員候補者の推薦及び応募状況（最終公表）

1 漁業者委員  
下記のとおり

推薦を受ける者又は応募する者						推薦をする者							推薦又は応募の理由	
氏名	職業	年齢	性別	経歴		主な漁業種類 漁業従事期間	氏名又は名称	職業又は目的	年齢	性別	代表者又は 管理人の氏名	構成員 の数		構成員たる資格
岩瀬 清敏	漁業	58	男	昭和60年4月 平成30年1月 令和4年1月 令和6年3月	岩瀬丸に乗船し一本釣り漁業に従事（～現在） 静岡県漁業協同組合青壮年部連合会会長 静岡県漁業協同組合青壮年部連合会顧問（～現在） 伊豆漁協協同組合理事（～現在）	一本釣り漁業 刺網・採貝漁業 39年4月	静岡県漁連 賀茂地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	加藤 紀久夫	8人	下田市、賀茂地区に住所を 有する県漁連会員をもって 構成する。	多年に亘り一本釣り・刺網・採貝漁業に従事し、地域漁 業に精通し、公平・公正な立場に基づいた判断や意見 をもっており、委員として適任である。
高田 充朗	漁業	65	男	昭和53年4月 平成6年4月 平成19年3月 平成21年9月 平成22年3月 平成22年4月 平成3年4月	沿岸漁業（一本釣り漁業）に従事 一本釣り漁業（武丸）を経営（～現在） 伊東市漁業協同組合 理事 伊東市漁業協同組合 代表理事専務 伊東市漁業協同組合 代表理事組合長 ↓（網代港漁協との合併により） いとう漁業協同組合 代表理事組合長（～現在） 静岡海区漁業調整委員会委員（～現在）	一本釣り漁業 定置網漁業 46年5月	静岡県漁連 伊東地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	高田 充朗	3人	熱海市、伊東市に住所を有 する県漁連会員をもって構 成する。	多年に亘り一本釣り漁業に従事するとともに、いとう漁 業協同組合（旧伊東市漁業協同組合）理事として定置 網漁業を経営し、平成22年3月からのいとう漁業協同組合 代表理事組合長、令和3年4月から静岡海区漁業調整 委員会委員に就任しており、豊富な知識と経験により、 公平・公正な立場に基づいた判断や意見を持ち、委員 として適任である。
金指 治幸	漁業	64	男	昭和56年5月 平成28年8月 平成29年2月 平成3年4月	第八長宝丸船長、甲板員として乗船。船長就任（～現在） （南長宝丸漁業 代表取締役（～現在） 静岡県旋網協会 理事（～現在） 静岡海区漁業調整委員会委員（～現在）	中型まき網 43年3月	静岡県漁連 沼津地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	大川 隆夫	6人	沼津市、富士市及び富士宮 市に住所を有する県漁連会 員をもって構成する。	43年に亘り漁業に従事し、令和3年4月からは静岡海 区漁業調整委員会委員に就任し、その豊富な知識と経 験により、公平・公正な立場に基づいた判断や意見を もっており、委員として適任である。
薩川 一義	漁業	70	男	昭和48年4月 平成7年7月 平成12年2月 平成15年5月 平成20年3月 平成30年3月	しらす船曳網漁業（西宮丸）に従事 しらす船曳網漁業（西宮丸）を経営（～現在） 清水市漁業協同組合 監事 ↓（市の合併により名称変更） 清水漁業協同組合 監事 清水漁業協同組合 理事副組合長 清水漁業協同組合 代表理事組合長（～現在）	しらす船曳網漁業 51年4月	静岡県漁連 焼津・清水地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	橋ヶ谷 長生	7人	静岡市、焼津市及び榛原郡 に住所を有する県漁連会員 をもって構成する。	多年に亘り、しらす船曳網漁業に従事し、平成30年3 月からは清水漁業協同組合代表理事組合長に就任 し、その豊富な知識と経験により、公平・公正な立場に 基づいた判断や意見をもっており、委員として適任であ る。
橋ヶ谷 雄介	漁業	56	男	昭和64年1月 平成2年8月 平成16年2月 平成23年5月 平成25年1月 令和5年2月	さば棒受網・たもすくい網漁業（善生丸）に従事 善生丸 一等航海士 善生丸 船長 善生丸 船長兼通信長 善生丸 漁労長兼通信長兼航海士 善生丸漁業生産組合 理事（～現在）	さば棒受網 たもすくい網漁業 35年7月	静岡県漁連 焼津・清水地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	橋ヶ谷 長生	7人	静岡市、焼津市及び榛原郡 に住所を有する県漁連会員 をもって構成する。	多年に亘り、さば棒受け網。たもすくい網漁業に従事 し、地域漁業に精通し、公平・公正な立場に基づいた判 断や意見を持っており、委員として適任である。
西原 忠	漁業	72	男	昭和46年4月 平成8年4月 平成21年3月 平成25年1月 平成31年3月 令和4年3月 平成3年4月	沿岸漁業（小型定置網）に従事 小型定置網漁業（幸福丸）を経営（～現在） 地頭方漁業協同組合 専務理事 ↓（合併により） 南駿河湾漁業協同組合 理事 南駿河湾漁業協同組合 常務理事 南駿河湾漁業協同組合 専務理事（～現在） 静岡海区漁業調整委員会委員（～現在）	小型定置網漁業 53年5月	静岡県漁連 榛原地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	藪田 国之	4人	御前崎市、牧之原市、榛原 郡吉田町における県漁連会 員をもって構成する。	多年に亘り、小型定置網に従事するとともに、平成 21年3月から南駿河湾漁業競合組合（旧地頭方漁業協 同組合）理事、令和3年4月から静岡海区漁業調整委 員会委員に就任しており、豊富な知識と経験により、公 平・公正な立場に基づいた判断や意見を持ち、委員と して適任である。
和久田 米喜	漁業	62	男	昭和58年4月 平成8年4月 平成14年9月 平成29年4月 令和元年4月 令和6年3月	沿岸漁業（しらす船曳船）に従事 共栄丸（しらす船曳網）を経営 機船底曳網漁業を兼業 法人化 株式会社共栄丸 代表取締役（～現在） 県機船底曳網組合 副組合長理事（～3年3月） 浜名漁業協同組合 筆頭理事（～現在）	しらす船曳網 41年5月	静岡県漁連 西部地区運営委員会	静岡県漁業協同組合 連合会の円滑な運営と 事業の積極的な推進を 期するとともに、会員相 互の連絡協調と発展を 図ること。	-	-	渥美 敏	3人	磐田市以西に住所を有する 県漁連会員をもって構成す る。	多年に亘り沿岸漁業（しらす船曳網、機船底曳網）に 従事し、地域漁業に精通し、公平・公正な立場に基づい た判断や意見をもっており、委員として適任である。
原 剛	漁業	63	男	昭和59年4月 平成15年3月 平成21年7月 平成25年3月 平成31年3月 令和4年3月	桜えび、しらす漁業に従事（～現在） 有限会社大政丸 法人化 由比港漁業協同組合 青年部長（～27年8月） 由比港漁業協同組合 監事（～28年3月） 由比港漁業協同組合 専務理事（～令和4年3月） 由比港漁業協同組合 理事（～現在）	桜えび漁業 しらす漁業 40年6月	静岡県桜えび漁業組合	静岡県下の桜えび漁業 の能率向上、円滑なる 発展。	-	-	實石 正則	118人	静岡県内における桜えび漁 業を営む個人、生産組合、 会社。	多年に亘り、桜えび漁業に従事し、令和3年4月か らは静岡海区漁業調整委員会委員に就任し、その豊富 な知識と経験により、公平・公正な立場に基づいた判断 や意見を持っており、委員として適任である。
竹内 照裕	漁業 遊漁船業 ダイビング案内業	62	男	昭和57年4月 昭和58年4月 平成8年1月 平成16年10月 平成17年1月 平成28年2月 平成30年2月 令和3年3月 令和3年3月	カツオ船乗船（三重県南勢町） 辰丸 一本釣り漁業、刺網漁業 静岡県漁業士会青年漁業士認定 東部地区漁業士会会長（～21年10月） 静岡県漁業士会指導漁業士認定 静岡県漁業士会幹事 静岡県漁業士会副会長（～現在） 伊豆漁業協同組合南伊豆支所運営委員 副委員長（～現在） 伊豆漁業協同組合理事（～現在）	一本釣り漁業 刺網漁業 42年7月	静岡県漁業士会	会員相互の研鑽と親睦 を図り、地域水産業の 振興方策の研究を通 じ、本県水産業の発展 に寄与する。	-	-	大沼 健一	98人	静岡県青年漁業士 静岡県指導漁業士	昭和58年に家業を継ぎ、漁業（一本釣り・刺網）、遊漁 船業、ダイビング案内業を営む。就業当時から、地元 の若手漁業者をとりまとめるだけでなく、他地区の漁業者 からも慕われる存在であった。被推薦者は県立焼津水 産高校を卒業していることから、県内各地に漁業を営 む同窓生がおり、彼らからも広く信望を集める人物であ る。東部地区漁業士会の会長として、また静岡県漁業 士会副会長として活躍したことで、異なる地域の状況や 漁業種についても理解が深い。 こうした活動歴から、各地の実情を理解した上で常に公 平・公正な判断をするといった資質を備えていること、 本人も海区漁業調整委員の職責を充分に理解している ことから委員として適任である。

※年齢は令和7年4月1日現在

2 学識経験者委員  
下記のとおり

推薦を受ける者又は応募する者						推薦をする者							推薦又は応募の理由
氏名	職業	年齢	性別	経歴	主な漁業種類 漁業従事期間	氏名又は名称	職業又は目的	年齢	性別	代表者又は 管理人の氏名	構成員 の数	構成員たる資格	
福井 篤	東海大学 非常勤講師	67	男	昭和57年4月 平成10年4月 平成16年4月 令和5年4月 日本エヌ・ユー・エス株式会社 環境事業本部研究員 東海大学海洋学部水産学科 助教授 東海大学海洋学部水産学科 教授 東海大学海洋学部水産学科 非常勤講師(～現在)	-	-	-	-	-	-	-	-	昭和57年より魚類の初期生活史の研究や日本各地の沿岸性魚類の資源生物学的研究に従事した。東海大学着任以降は、深海性魚類の初期生活史や分類学的研究を全大洋で展開し、自然史の解明に貢献した。地域漁業の振興としては、駿河湾産サクラエビの資源生物学的研究を継続し、資源量推定のモニタリング結果に基づいて漁業管理のアドバイスなども行った。以上の知識と経験は海区漁業調整委員会委員として活かせると判断し、「多様性に富んだ持続可能な水産資源を目指す」という思いから応募した。
浪川 珠乃	東京海洋大学 教授	56	女	平成3年4月 平成17年7月 平成23年5月 平成23年9月 平成24年4月 平成28年4月 平成31年4月 令和5年4月 令和6年3月 パシフィックコンサルタンツ株式会社港湾部 社員(～17年6月) 財団法人女性労働協会 職員(～21年3月) (一財)漁港漁場漁村技術研究所 職員 (一財)漁港漁場漁村技術研究所 主任研究員(～31年3月) 全国漁業協同組合学校 非常勤講師(～令和6年2月) 東京海洋大学 非常勤講師(～31年3月) (一財)漁港漁場漁村技術研究所 上席研究員(～令和5年3月) (一財)漁港漁場漁村技術研究所 次長(～令和6年2月) 東京海洋大学研究戦略マネジメント機構 教授(～現在)	-	-	-	-	-	-	-	-	横浜国立大学工学部建設学科海洋工学専攻課程を卒業後、建設コンサルタント会社で港湾・海岸の調査・計画・設計に携わった後、水産や漁業地域の振興に関わりたとの思いから、東京海洋大学海洋科学技術研究科の博士後期課程にて水産経済学を専攻、沿岸域の利用調整や管理主体問題について研究を行いました。東京海洋大学博士課程を卒業後は、一般財団法人漁港漁場漁村総合研究所に勤務し、漁港や漁村の調査・計画、特に、漁村の防災、産地市場の計画や経営戦略の立案、漁村振興や海業の計画立案等に携わってきました。これらの経験を活かし、静岡県海区漁業調整委員会委員として、資源の持続的な利用、水面の総合的利用と利用調整、漁業生産力の発展に寄与したいと思っています。
安間 英雄	遠州漁業協同組合 代表理事組合長	77	男	昭和45年3月 昭和45年8月 昭和57年3月 平成7年4月 平成27年4月 平成27年6月 平成28年7月 平成29年11月 平成30年12月 明治大学政治経済学部卒業 代議士秘書(～48年12月) 磐田市議会議員 静岡県議会議員(～25年3月) 遠州漁業協同組合 顧問 遠州漁業協同組合 理事 遠州漁業協同組合 専務理事 旭日小経章 叙勲 遠州漁業協同組合 代表理事組合長(～現在)	-	浜名漁業協同組合	組合員が協同して経済活動を行い、漁業の生産効率を上げ、もって組合員の経済的社会的地位を高めること。	-	-	渥美 敏	2,013人 正 634 准 1,379	正組合員の資格(一部省略) この組合の地区内に住所を有し、かつ1年に90日を超えて漁業を営む又は従事する漁民 この組合の地区内に住所又は事業場を有する漁業生産組合 准組合員の資格(一部省略) 正組合員に該当しない漁民、水産加工業等を営むもの等	安間氏は、市議会議員、県議会議員を30余年の長きにわたって務め、地域の実情や行政・法令に通じている。議員退任後には、地元の漁業協同組合の役員を務め、漁業の知識を高め、堅実な漁協運営を行い漁業者の信頼も厚い。その間、海区漁業調整委員会の委員を務めている。また、地元のボイスカウトや市民スポーツ団体の役員も務め、幅広い人脈を持つ。以上のように、漁業の現状、行政や法令、一般市民の感覚など、幅広い分野に精通し高い見識を有することから、海区漁業調整委員会の学識委員として適任である。
田口 さつき	株農林中金総合研究所 主任研究員	55	女	平成13年3月 平成13年4月 平成25年10月 令和3年4月 東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程退学 農林中金総合研究所に入社。 同社にて漁業・漁協を担当 基礎研究部(～現在) 静岡海区漁業調整委員会委員(～現在)	-	-	-	-	-	-	-	-	海区漁業調整委員会委員は、漁業の民主主義の根幹を担う組織であり、働く漁民が主体となって、制度を構築する場である。 私は、これまで漁業者の自主的な制度づくりや漁協青年部の研究活動を調査・支援してきており、その知見をもって、静岡海区漁業調整委員会委員として静岡県の漁業に貢献したく、この度、自薦いたしました。
石原 広恵	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 准教授	50	女	平成15年8月 平成16年3月 平成20年10月 平成24年11月 平成28年7月 平成30年2月 令和3年5月 国連開発計画 イエメン事務所環境部 インターン(～16年2月) 国連開発計画 イエメン事務所環境部 プログラムオフィサー(～18年2月) 国連大学高等研究所 Ph.D.Fellow(～21年8月) 総合地球環境学研究所 研究員(～25年6月) 東京大学大学院農学生命科学研究科 特任研究員 東京大学大学院農学生命科学研究科 助教 東京大学大学院農学生命科学研究科 准教授(～現在)	-	-	-	-	-	-	-	-	応募者は今まで、共有資源(コモンズ)の研究をしてきた。共有資源とは、一人が使用するとその資源が減るものの、他人の使用の排除が難しいような資源を指している。このような資源においては、個人の所有権の確立が難しいため、個々で管理することが難しく、地域の漁業者(漁業協同組合)と政府が共同で管理することが必要であると考えられてきた。このような共同管理の成功要因の一つとして、日本の海区調整委員会は挙げられてきており、海区調整委員会での活動を理解したく、今回の海区調整委員会の委員に応募した。

※年齢は令和7年4月1日現在

3 中立委員  
下記のとおり

推薦を受ける者又は応募する者						推薦をする者						推薦又は応募の理由		
氏名	職業	年齢	性別	経歴	主な漁業種類 漁業従事期間	氏名又は名称	職業又は目的	年齢	性別	代表者又は 管理人の氏名	構成員 の数		構成員たる資格	
鳥居 恭子	弁護士 島田みらい法律事務所	48	女	平成25年 平成25年4月 平成25年4月 平成26年 平成28年4月 平成28年4月 令和 2年4月 令和 4年4月 島田市情報公開審査会 個人情報審査会 委員(～現在) 静岡県内水面漁業管理委員会 委員(～令和2年7月) 島田市民病院倫理審査会 委員(～令和3年3月) 静岡県栽培漁業推進協議会 委員 島田市民病院ハラスメント対策委員会 委員(～令和3年3月) 島田市行政不服審査会 委員(～現在) 静岡家庭裁判所島田出張所 家事調停委員(～現在) 島田市権利擁護推進協議会 委員(～現在)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	東京水産大学(現東京海洋大学)を卒業しており、従前より水産資源、海洋環境に興味関心をもっておりました。海洋資源の豊富な静岡県における地域漁業の振興に法的側面から一助となりたく応募をいたしました。
江口 智美	静岡県立大学 教授	43	女	平成16年4月 平成26年4月 平成30年4月 令和 3年4月 令和 6年4月 愛知県公立中学校 教諭(～平成21年3月) 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 助教 山形県立米沢栄養大学健康栄養学部 講師 静岡県立大学食品栄養科学部 講師(～現在) 日本調理科学会関東支部 委員(～現在)	-	-	-	-	-	-	-	-	勤務先である静岡県立大学食品栄養科学部の桑野稔子教授から、本募集をご紹介いただいた。専門分野は調理科学であり、食に関わる貴委員会に興味をもったため、今回応募した。なお、海区漁業調整委員会の所掌に属する事項に関し、利害関係を有しない、	

※年齢は令和7年4月1日現在